

演習シート② 伝える力

情報を共有するためには伝える力が不可欠です。利用者や家族への説明や提案、上司への報告・連絡・相談、会議での発言など、援助の場では正確に伝える技術が求められます。あなたの伝える力をチェックしてみましょう。

普段のあなたに該当する項目に✓をつけてください。

- 1. 自分では伝えたつもりが、相手に伝わっていないことがよくある。
- 2. 伝えたいことがあると、つい一人で話し続けてしまう。
- 3. 最も大切なことは、話の最後に伝える。
- 4. 関連のあることはすべて話そうとして、時間がかかってしまう。
- 5. 「あれ」「これ」「それ」で表現することが多い。
- 6. 量を伝えるときに、「多めに」「ちょっと」などの表現を使っている。
- 7. 相手がわかっていると思われることは、説明を端折る（省く）。
- 8. 「誰が」「何を」を省略して「終わりました」「やっておきます」と伝えがちである。
- 9. 「ふつうは」、「誰でも、」などの表現をよく使う。
- 10. 「この人は、なぜこの説明で理解することができないのだろう」と思うことがある。